

Eco-Village

Higashiyama

Art and Hotels





THE VILLA AT HIGASHIYAMA *Art and Hotels*

Eco-Village

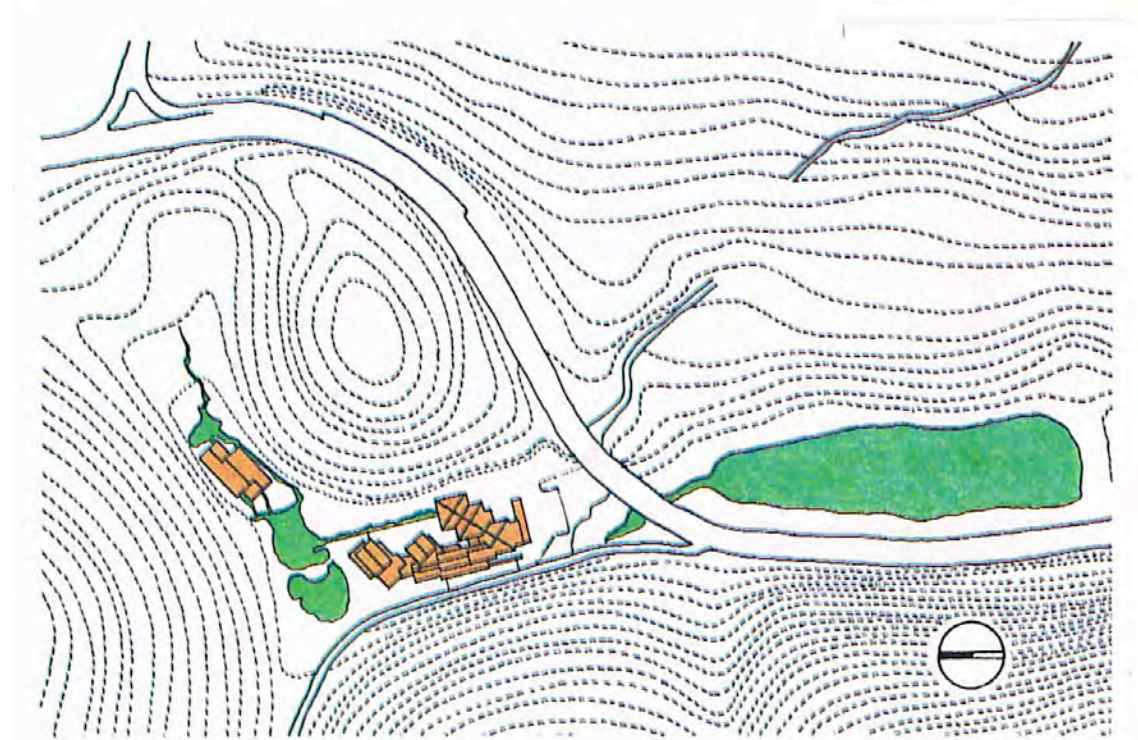
頼山陽が京を「山紫水明」といったその山は東山でした。永い間、京洛の市中に住む人の歴史と深いかわりをもち、京のやわらかい精神風土を育んだともいえる山です。穏やかな山容、数々の谷や池、四季折々に山肌を染める木々、春霞など、その京都らしい自然景観は、訪れる人々にもなつかしさを覚えさせてくれます。

この山荘は、これらのありのままの自然を取り込み、近づいて愛でることができるやさしい空間を提供しています。別荘を継承した日本料理店といった佇まいをかもしながら、貴重な調度・骨董品が置かれたギャラリー、

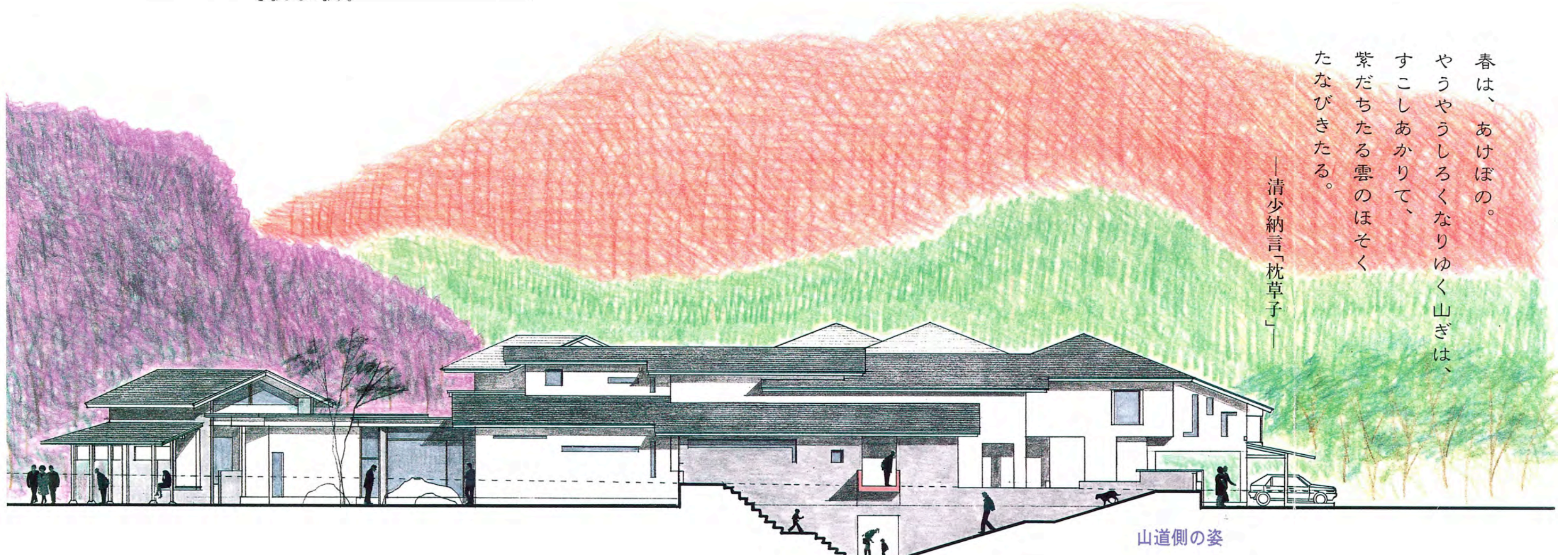
小さな会合から園遊会・ウェディングまで様々な宴に対応するスペース、ゲストルームなど多彩なもてなしの間をもつ施設です。「池の間」「石の間」「山道の間」などはその名のとおり景色を見ながら、美しい京の会席料理を目で舌で楽しむことができ、「竹の間」は二層で、オープンなスペースから竹林や滝を表情豊かに望めます。池の水を導いて滝を演出した「水のギャラリー」は古美術鑑賞の妙趣をひきたて、続くオープンエアの「ウェディングギャラリー」は滝とガラスのスロープにより魅力的なシーンを一層ドラマチックに見せます。サンクンガーデンには、東海道自然歩道と結ばれた山道をトレッキングする人々も自由に立ち入ることができるよう山道側に入口が設けられ、「開かれたギャラリー」となっています。

山荘内にオーナーの住宅も付設されていますが、客動線との重なりをさけながらも、もてなし側として全てのスペースに容易に移動できるようにエレベーターを設置。また「ゲストルーム」は里帰りをする親族の宿泊用に配されましたが、眺望のよい広い洋間で、普段は一般の宿として、あるいはウェディングとあわせた利用など、もてなしのスペースとしての可能性を広げています。

多機能な施設でありながら、その中心は大きく自然と文化のギャラリーであり、厚い歴史により洗練された文化を築いた京都の〔観る〕こだわりを満たす



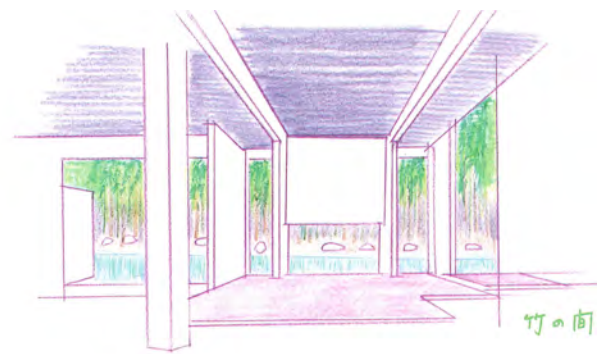
Context



—清少納言「枕草子」—

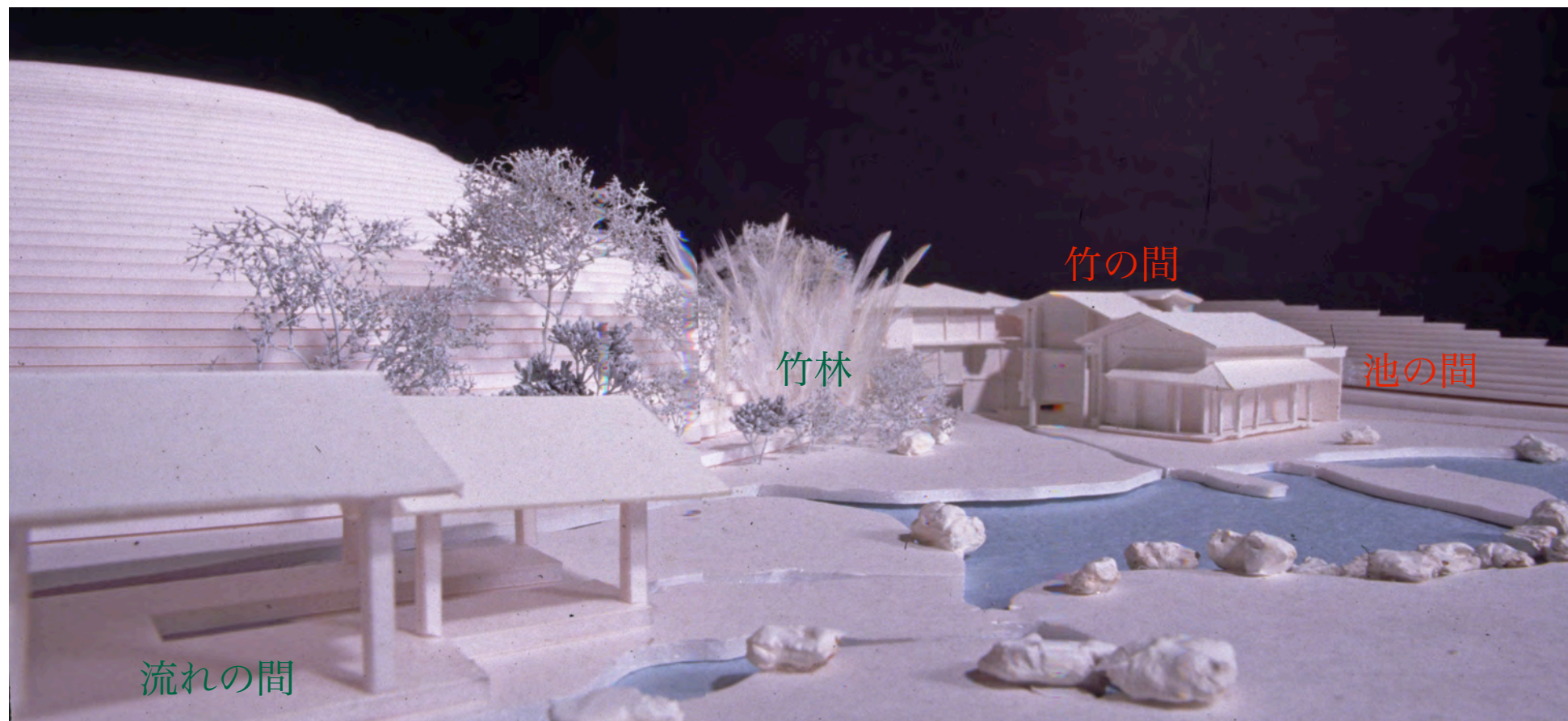
春は、あけぼの。
やうやうしろくなりゆく山ぎは、
すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそく
たなびきたる。

山道側の姿



竹の間

この辺りの
水源を担う
蓮池

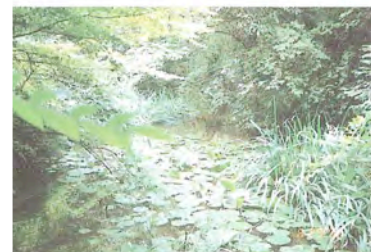


竹の間

竹林

池の間

流れの間



はず池



流れの間

竹の間から借景する風景



入口付近の
幽玄な様子

入口

池の間から借景する風景



竹林

ガーデン上部

竹の間

ガーデン上部

セミナーの間

緑の間

厨房

カウンター

玄関ホール

石庭

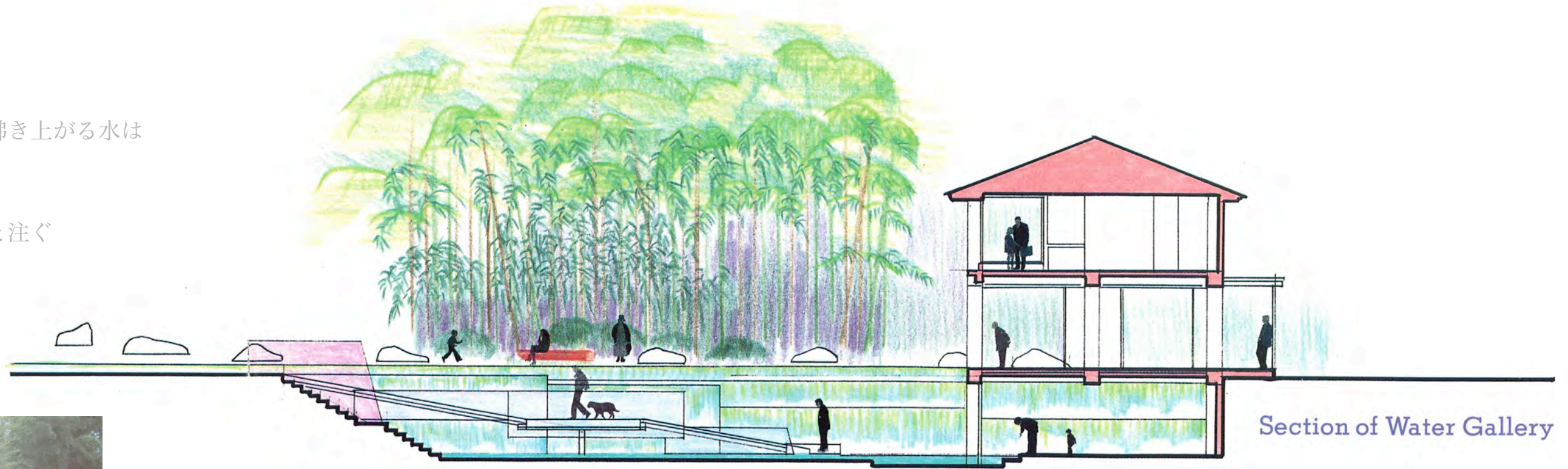
あじさい庭

山道

Site plan

蓮池からこんこんと湧き上がる水は
竹林の前を通り抜け

サンクンガーデンへと注ぐ



Section of Water Gallery

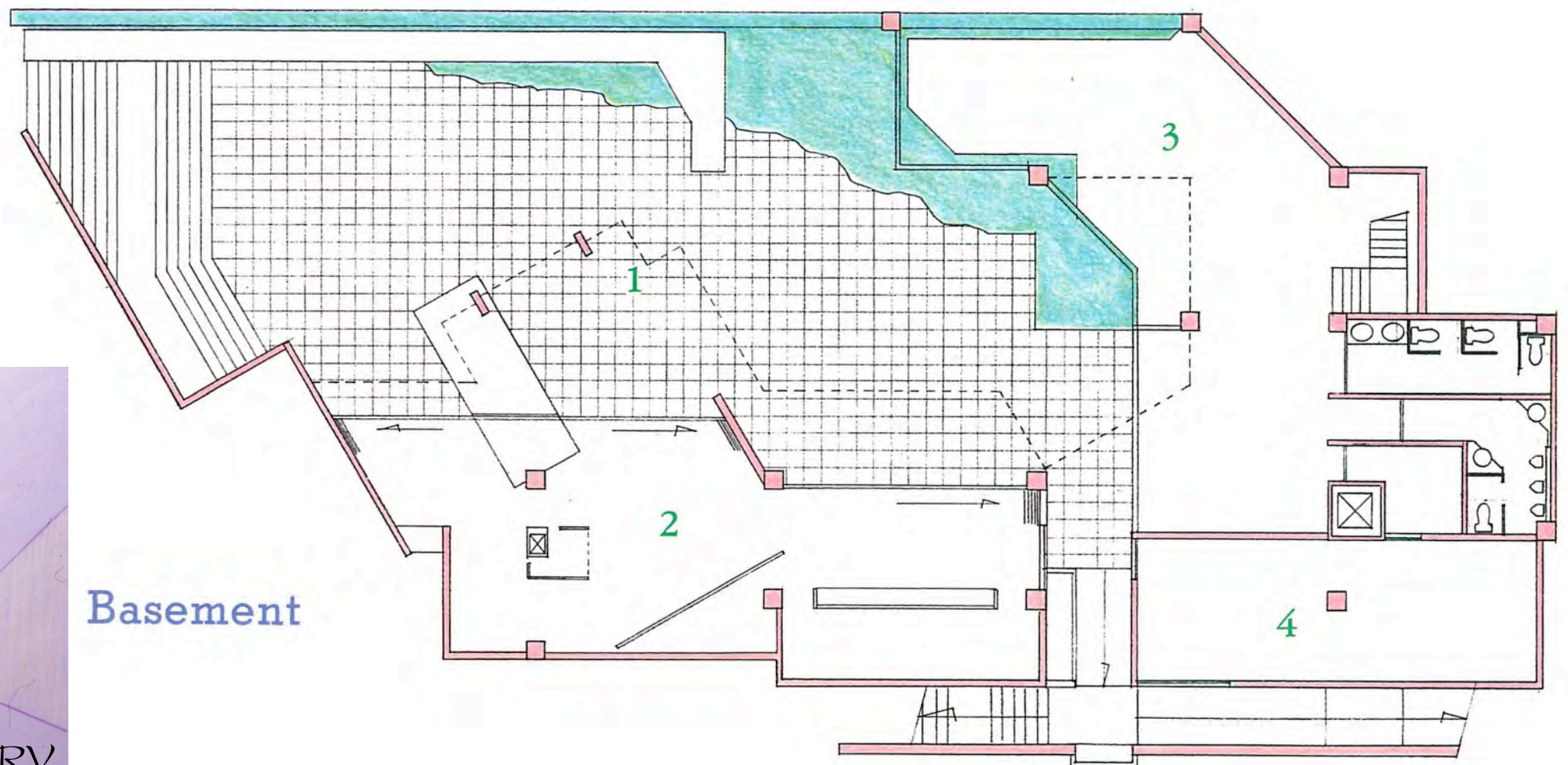
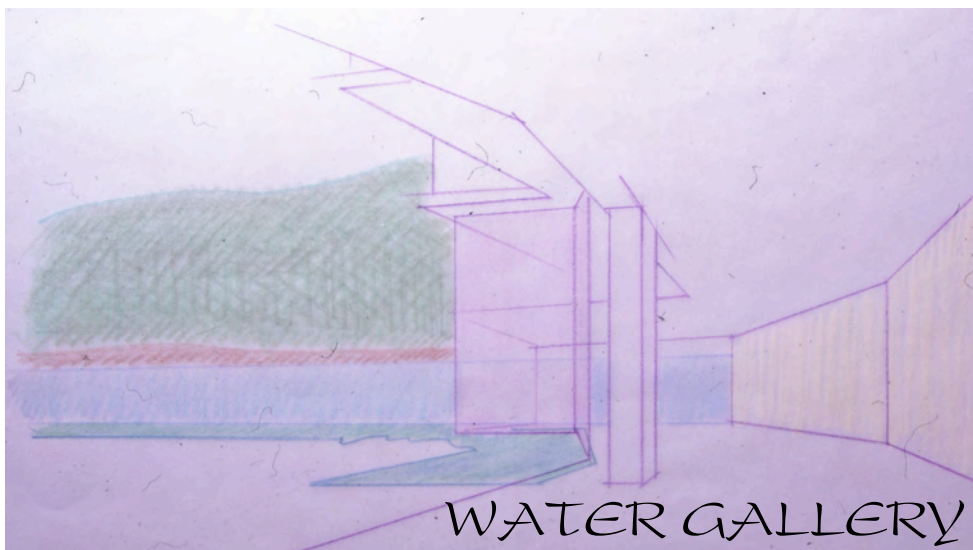
浄化、循環させる水ではなく
自然のままの流れが落ちいずる

建物の「うち・そと」を通過して東山を下る

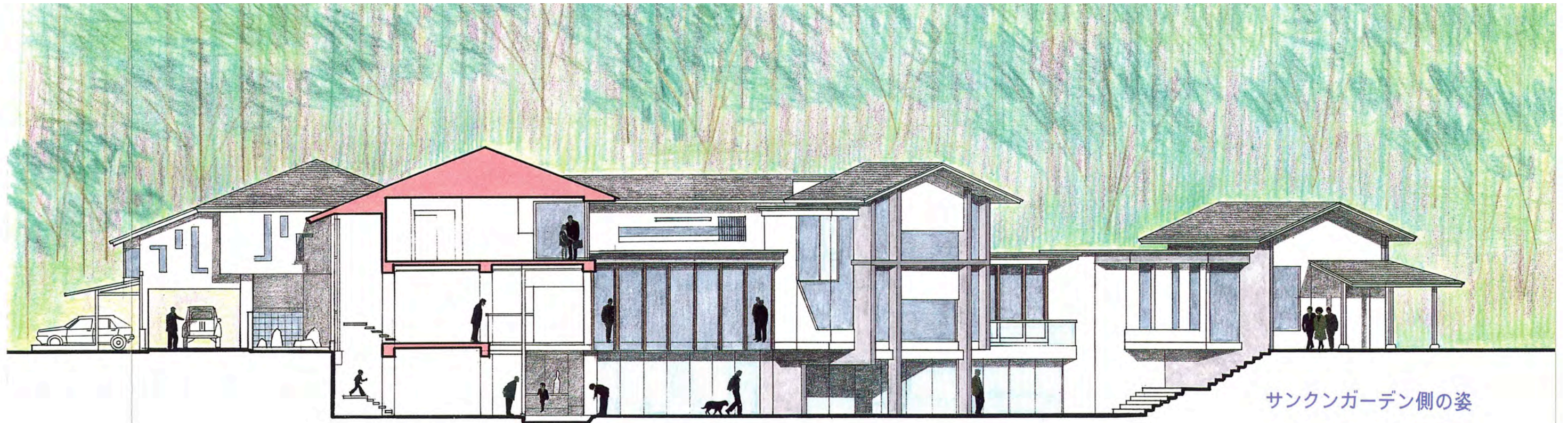
いきものの棲む水辺
変化に富んだ表情の「たまゆら」

アートとの新たな関係が生まれる

1. SUNKEN GARDEN
2. WEDDING GALLERY
3. WATER GALLERY



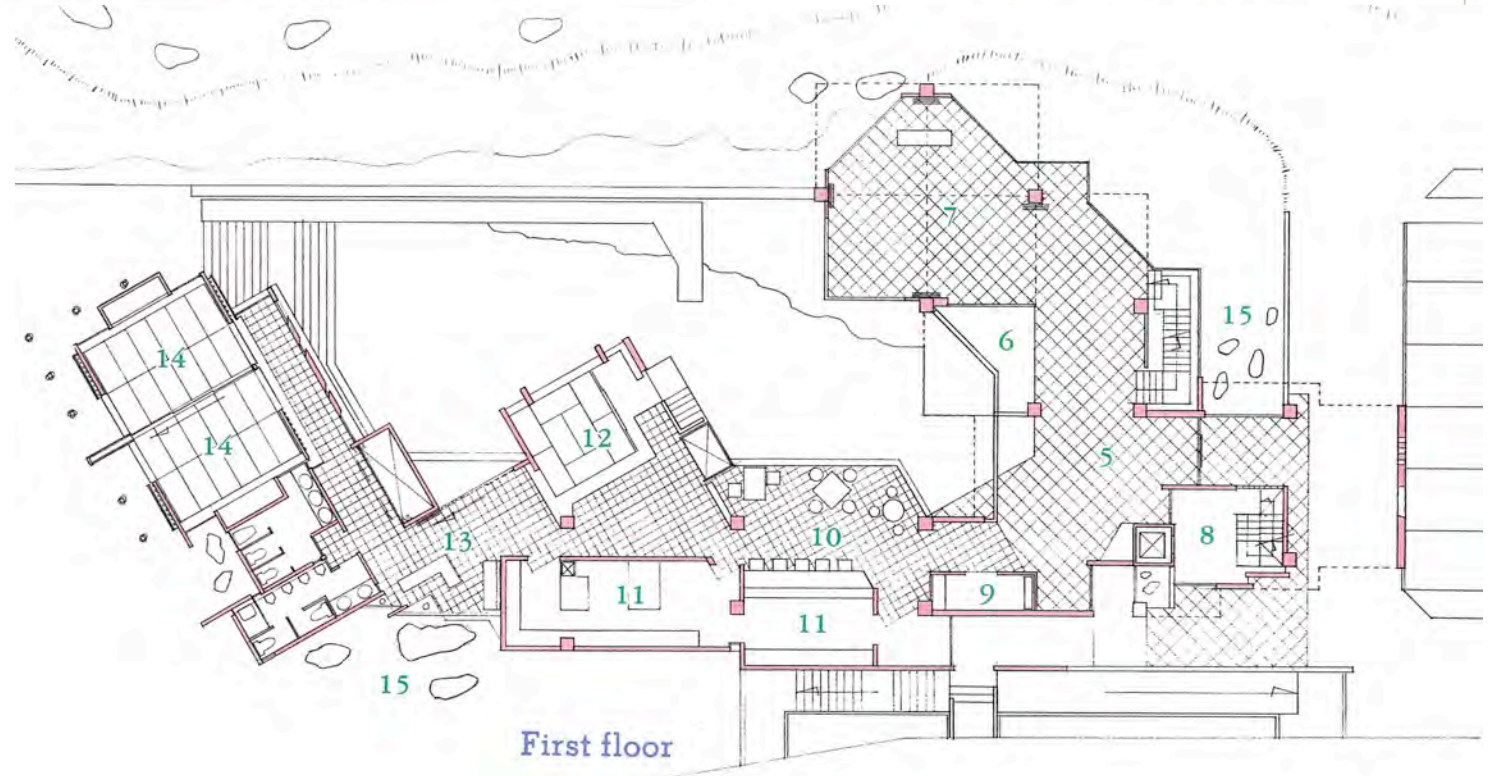
Basement



サンクンガーデン側の姿



Second floor



First floor



- 5. ENTRANCE HALL
- 6. VOID
- 7. SEMINAR SPACE
- 8. HOUSING ENTRANCE
- 9. PHONE CORNER
- 10. SPACE 緑
- 11. PANTRY
- 12. SPACE 竹
- 13. SPACE 石
- 14. SPACE 池
- 15. STONE GARDEN
- 16. LIVING/DINING
- 17. PRIVATE SPACE
- 18. KITCHEN
- 19. BALCONY
- 20. GUEST ROOM
- 21. SPACE 竹
- 22. SPACE 山道

清水寺への山道から望む



